

男女平等をともにすすめる情報紙



アルザ

vol.58

2024年 3月

特集 アルザフォーラム 2023

基調講演 田中 俊之さん



分科会
大学連携事業
ワークショップ
DVD 上映会
協賛事業ほか

アルザフォーラムは、市民中心の実行委員会の主催により、男女共同参画を広く啓発するアルザにいがたのイベントです。

●アルザフォーラム 2023
開催期間 2023年11月11日～19日

アルザにいがた

発行／新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
新潟市中央区東万代町 9-1 万代市民会館 3階
電話：025-246-7713 8:30～17:30 土日及び祝休日を除く
URL：<https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza/>
E-mail：alza@city.niigata.lg.jp



「アルザ」は、「志気を高める」、「高揚」という意味のスペイン語の「alza(アルサ)」が語源。開館5周年の公募で決定、センターが男女共同参画について意識を高める場であってほしいという願いが込められています。また、15周年にはロゴとマークを募集。男女が互いに支え合い笑顔が広がっていくイメージをあらわしています。



アルザにいがた X (旧 Twitter)
講座情報や新着図書情報、職員が日常で感じたジェンダーに関することをつぶやいています。コメントや♥(いいね)、お待ちしております♪



情報紙のご意見・感想をお寄せください。アルザにいがたへのEメールはこちらから



「男性学の視点から 誰もが生きやすい社会を考える」

講師 田中 俊之さん
(大妻女子大学 人間関係学部 准教授)



「誰もが生きやすい社会」をテーマに男性学の視点からご講演いただきました。

講演の中で、男女共同参画は男性にとっても当事者として、向き合わなければいけない非常に重要な問題であることを、具体例や様々なデータを踏まえてご講義いただきました。また、男性が性別によって自分の生き方に影響を受けているという視点を持つことの大切さを、ご自身の経験を交えながらお話しいただきました。

誰もが生きやすい社会を実現するためには、「積極的寛容」が大事で、これは自分と異なる価値観を持つ個人や集団と出会ったときに、面と向かって話し、互いに敬意を払い、変わり得れば、実現できるとの事でした。

講演の最後には、参加者からのたくさんの質問に丁寧に回答いただきました。

単身赴任予定の子育て中の男性から「子どもとどう接していけば良いか」との質問に対し、「子どもに接する時は、テレビ電話や月数回会える機会を利用して、面と向かって話すという一番大事なコミュニケーションを大切にしたい。また何かしなきゃと思わず、子どもが望むお父さんになりたいことを一緒にやっていけば大丈夫だと思います。」と親身にお答えくださいました。



＜参加者の感想＞

- ・男性学の話聞く機会がなく、今回とても勉強になりました。まだまだ男性女性の社会的格差を感じています。大人がどんどん変わっていかなくてはと思いました。「利他」大切ですね。
- ・まだまだ性別による役割が強い。直接会って対話する理解、互いに尊敬、互いに変化することが、生きやすい社会を作る！同感です。
- ・納得できる話が多く、今後の人生の参考にさせていただきます。性別による固定観念に無意識にあやつられていないか気を付けます。
- ・男性学というものが知れて良かった。女性視点で語られることはよく聞いていたので男性視点の話聞くことで自分の中で整合性が深まった。
- ・男女参画の観点で男性の立場を主とした講演は新鮮で非常に参考になった。講師の方の話も具体的に誰にとっても分かりやすい内容だったと思う。
- ・積極的寛容と消極的寛容の話がとても参考になりました。他者とかかわり話をするのがとても大切だと思いました。今日のお話を家族にも伝えたいと思います。
- ・男性として性別が自分の生き方に与える影響を考える重要性がよく分かった。積極的寛容コミュニケーション、人間性の基本に立ち返る事が大切ですね。
- ・働きすぎ男性の問題点がはっきりして、すっきりした。男女共同参画が進まないと感じていたが男とか女に限定しない性別を超えた視点にもう一度立って考えたい。慣習の怖さを教えてもらった。
- ・夫と二人で聞くことができ嬉しかったです。また話してみたいと思います。実体験に基づいたお話も多くとても分かりやすく興味深かったです。



分科会 令和5年11月19日(日)

「その生きづらさはどこからきてる？」 ～見えないしほりを考える～

講師 虎岩 朋加さん
(愛知東邦大学 教育学部 准教授)

気づきにくいモヤモヤの原因を社会構造から考え、気づきを得てもらいたいという思いから実行委員が企画しました。



【社会構造を考える】

社会構造のシステムは私たちがつくり、維持しています。そのシステムには、男性中心主義的な考え方が埋め込まれており、男性というカテゴリーに、社会的な力が偏在されています。また、私たちは無意識に社会的に期待される言動のパターンである性役割規範に従って行動しています。

ほかにも学校での「かくれたカリキュラム」や家族主義を前提にした制度など、私たちは特定の物語(ナラティブ)に従って行動していることがわかります。

【モヤモヤする原因はナラティブ】

一人ひとりが抱えている問題の不当性や問題性を改めて明らかにして、みんなが理解することで概念を変え、ナラティブやシステムを変えることができます。

モヤモヤを感じることはナラティブ変化の大きなチャンスで、そのモヤモヤが社会的に共有されると主流のナラティブは変えられます。

【参加者の感想】

- ・モヤモヤを感じるものがナラティブ、意識の変化につながるチャンス！そうだー！！と思いました。また違う目をもって社会を見ていきたいです。ありがとうございました。プライバシーに配慮があったので、話しやすかった。
- ・いろいろな立場の人の話が聞いて気づきが多かったです。
- ・ジェンダーについて様々な角度で見ることができた。
- ・内容も良かったが、モヤモヤをみんなで共有するグループワークは、普段、あまり接する機会が少ないような年齢の方とお話できてとてもおもしろかったです。
- ・なんとなく使っていた言葉をあらためて説明くださったのがありがたい。「なんとなくこういう感じ」に〇〇主義など名前があったのが新しい発見でした。

大学連携事業 令和5年11月26日(日)

「いろんな年代で考えよう！ジェンダーについて」 講師 里見 佳香さん

(新潟青陵大学 福祉心理子ども学部 准教授)

ゲスト 開志専門職大学アニメ・マンガ学部 学生4人

アルザにいがたの主催事業でジェンダーをテーマにイラストを制作した開志専門職大学アニメ・マンガ学部の学生の皆さんをゲストに、新潟青陵大学の里見佳香さんを講師としてお招きし、前半はイラストの作品説明、後半は講義とグループワークを行いました。



【作品に込めた思い】

当日は4人の学生の皆さんにどんな思いでイラストを制作したか、工夫した点などについて、講師がインタビュー形式でお聞きしました。「女性は赤、男性は青という性別と色の固定概念を逆にすることで男女の役割に縛られなくてよいということを表した。」「偏見を額縁に見立てて描いた。額縁から飛び出すことによって偏見に囚われないということを表した。」などのお話があり、それぞれが作品に込めた思いや技術的に工夫した所を知ることができました。

【あなたが生きやすくなるために】

はじめに、グループワークでは「女って、男って」を各々出し合い、逆に考えてみました。逆にしても「男でもいる!」「女でもいる!」ということがほとんどでした。



講義では法学が考える男女の差異や憲法で規定されている法の下での平等での合理的な区別についてお話いただきました。人権は人が生まれながらにもつ権利で、規制に合理性が認められなければ差別(違憲)となることを学びました。また、法のみではくれない「生きづらさ」を生じさせる社会のあり方についてはジェンダーの問題が深く関係しているため、男女共同参画もジェンダーの問題も「あなたが生きる話」「あなたが生きやすくなるための話」というお話が心に残りました。

参加者は10代から70代までと幅広く、学生の皆さんの作品に込めた思いを聞くことや、講義やグループワークを通して、幅広い世代でジェンダーについて考える機会、そして世代によるジェンダーの意識についても考える機会になりました。

アルガフォーラム 2023 ワークショップ

18団体の皆さんが、男女共同参画に関する様々なワークショップを開催しました。

★11月11日（土）

コラージュで自分探しの旅にでかけませんか。

主催：放送大学心理臨床研修会・新潟



コラージュ創りを通して、その楽しさを体験し、更に創作することが気持ちの安定化や脳の働きを活性化することに役立ちます。また、心理的な見方で自己理解が深まることがあります。参加者からは、「時間があつという間だった」等の感想がありました。

それは特殊詐欺だ！被害者は女性に多い、なぜ！

主催：劇団あかつき



詐欺の被害者は特に高齢者が多く、女性はそのうちの7割以上です。これ以上、被害者を増やさない為にも、7つの事例を挙げて演劇にしました。参加者からは「詐欺というものや手口が分かってよかった」等の感想がありました。このような悪質な詐欺が無くなり皆様が安心して暮らせるように望みます。

僕が「自宅待機組の会」を立ち上げた理由（わけ）

主催：カトリア会



講師は学生時代、不登校を経験し、うつ病と診断され、自宅で過ごしていました。同年代の友人もなく寂しさを感じていたところ、主治医の勧めで「自宅待機ぐみ」を始め「友達の家に来る」ような感覚で、カウンセラー等の協力も得て月1回開催しています。また今後は、親や先生等の支援を手厚くすることを考えています。

★11月12日（日）

「人生会議」のゲームを楽しみませんか？

主催：特定非営利活動法人 新潟キャリアコンサルタント協会



誰もがよりよく生きるためのライフキャリアを実現するために「人生会議」ゲームを企画しました。重いテーマになりがちな「人生会議」だからこそ、告知の際は、ゲーム性を全面に出し、楽しく思索が深められることを周知しました。参加者より「普段親しい人にも話さない内容を共有できて良かった」等の感想がありました。

心理学で学ぶ 男女の枠のリフレーミング

主催：NPO 法人 新潟県カウンセリング協会



地域の男女差別に関する考え方について認知行動療法を用いた転換方法を紹介し、日常生活に活かす方法の「リフレーミング」体験を行いました。質問票を使い、それぞれが自分の考え方のクセを振り返り自己理解を深め、また自分とは違う考え方や捉え方を聞き、他者理解の機会になりました。

女性の歴史から戦争と平和を考える

主催：NPO 法人 女のスペース・いいがた



戦前～戦後の新聞記事や日記を基にした資料から「女は銃後、男は戦闘」と語られ、女性たちも軍事訓練をし、戦争をしていたという事実。戦中の報道から「お国のために」を鼓舞する意見を掲載する動き。敗戦直後の特別女性従業員募集等の広告が連日掲載されていたこと等を知り当時の社会情勢がよく分かりました。

★11月14日（火）

認知症認定看護師に学ぶ認知症ケア

主催：いいがた女性会議 介護・自立部会



講師に認知症認定看護師を招き、認知症になったら社会とどう関わっていけばいいのか、また、社会の理解度を進めていく重要性や症状の改善にはケアの力が大切で、薬は最後の手段であることを伺いました。参加者からは沢山の質問があり、お話を聞いてほっと安心された様子もありました。

性の多様性と人権について学ぼう②

主催：いいがた女性会議 男女平等教育部会



昨年に引き続き、学習と意見交換の場にしようとして座談会形式で開催しました。当事者の方々が抱える課題も知ることができ、全員が発言する中で一人一人の感じ方や捉え方の違いに気づき、より多くの声を聴くことが、今後の活動の発展に繋がると思いました。

★11月16日(木)

みんなで参加する省エネ生活

主催：新潟市消費者協会



電気料金の値上げが家計に負担をかけている状況で、今一度省エネについて勉強し、男女の区別なく家族みんなで取り組んでほしいとの思いで開催しました。省エネについて学びながら、電気の大切さも痛感しました。家族にも聞かせたかったとの声もあり、充実した内容だったと実感しました。

笑いは元気の素

主催：NPO 法人 健康生きがいづくり新潟



中高年の女性男性を問わず、健康づくり生きがいづくりを広く知っていただくために、勉強会や公開セミナー等を行っています。今回は、笑いヨガを広く知っていただき、笑いの効用で健康づくり・生きがいづくりに役立てる為、開催しました。アンケートの評判は良く、実施できて大変良かったです。

カーリングの楽しさが あなたを健康にします！

主催：新潟県カーリング協会



初めての人でもすぐに覚えられて、幼児から高齢者、障がいのある方まで幅広い交流が可能です。参加者はすぐにコツをつかみ、一投一投のディスクの行方に歓声を上げていました。「初めて体験して難しかったけど楽しかった」「運動不足には良いと思った」等の感想がありました。

★11月18日(土)

女性と子どもの貧困について考える ～解決のための課題と、その対策は～

主催：NPO 法人 ウィメンズサポートセンターにいがた



「新型コロナ」の後遺症は身体的なものだけではなく、女性や子どもの貧困等が浮き彫りとなり、DV や虐待の問題は益々深刻化しています。そうした状況を踏まえ、講師から「女性と子どもの貧困」についての講義を受け「非暴力トレーニング」の手法で、様々な問題について話し合いました。

『老年期をどう生きる？』- 自分の生き甲斐を見つけよう！ -

主催：イキイキ健康ふれ愛クラブ元気塾



始めは「仏教から見た因果関係」と題して、諸行無常、善因善果・悪因悪果の話があり、次に全員参加型の発表会で、各自が今年の春から話し合いを重ねて来た『老年期をどう生きる？-自分の生き甲斐を見つけよう！-』をテーマに発表しました。

防災カフェ in アルザ ～みんなで防災～

主催：わいわい夢工房



災害時は性別役割分担や年齢にとらわれず、自分にできることできないことを出し合い、その場に居合わせた人と協力し被害を最小限に留め公助を待つことが不可欠です。今回は「クロスワード」を行い、また自宅や狭い空間でもできるセルフマッサージ等、楽しい雰囲気ストレッチを行いました。

組織内ファシリテーション～話し合うチカラを高めよう～

主催：NPO 法人 日本ファシリテーション協会新潟サロン



ダイバーシティ&インクルージョンとは多様な人がただそこにいるという組織から、受け入れて活かす組織にするという大切な考え方を講師からお話いただき、心理的安全性の高い職場づくりに必要な3つの要素などについても解説をいただきました。

私とあなたの違いを交流分析で理解しましょう

主催：ポレポレの会



講座では、交流分析の聞きなれない言葉を自分に落としこめるよう説明していく事を心掛けました。普段は欲しい言葉を他人に求め、受け取る事は行っていないと思います。今回、求める事と受け取る事の良さを体感していただけたと思います。

★11月19日(日)

誰もが生きやすいジェンダーバランスとは？

主催：NPO 法人 新潟 NPO 協会



男女共に色々な年代の方の参加があり、グループ内でジェンダーと聞いて感じる事や問題等を積極的に話し合い発表しました。参加者からは「機会がないと普段話せないことを、ふみこんで安全に話せるイベントだった」等の感想が寄せられました。

「困難な問題を抱える女性への支援」 —どうする？ 県・市の民間団体と行政との協働—

主催：にいがた女性会議 子どもの人権・子育て支援部会



講師より法律の概要、女性相談支援センター等支援に関わる機関の基本方針について問題提起され、パネラー間や参加者との意見交換が活発に行われました。アンケートより、「女性たちがいろいろな困難を抱えていることを学習した」等の感想が寄せられました。

その他の催し

パネル展示

なるほどジェンダー

(公財)日本女性学習財団作成の男女共同参画にまつわるさまざまな問題、日常生活の中のちょっとしたエピソードをユーモアあふれるイラストで表現したパネルを展示しました。



新潟市行政相談委員協議会

国の行政等に関する相談の流れ・仕組みなどをわかりやすいパネルで展示をしました。



新潟人権擁護委員協議会

アルザフォーラム期間と同時期に実施されている「女性の人権ホットライン強化週間」の広報活動をかねて、人権擁護委員の活動をお知らせする展示を行いました。



DVD上映会

『種まく旅人 - 華蓮のかがやき -』

- 11月17日 (金)
- あらすじ

実家のれんこん農家を継ぐべきか悩む青年と女性の農業就労について視察するため、金沢にやってきた農林水産省の職員との交流を描く。

- 参加者の声

- ・ 農業について、いろいろ考えさせられました。
- ・ 農村の昔からの風習もある中で、これからの若い人の力が大きくなると感じました。

『老後の資金がありません！』

- 11月18日 (土)
- あらすじ

老後の資金をコツコツ貯めてきた普通の主婦が、パートの突然の解雇、義母との同居、娘の結婚式費用など金銭的な災難に見舞われてしまう。

- 参加者の声

- ・ 久しぶりに考えさせられ、たくさん笑いました。
- ・ とても楽しい映画でした。老後の資金がなくてもなんとかなる・・・と考えさせられました。

協賛事業

パパ's 絵本プロジェクト

「親子で楽しむ絵本ライブ♪」 in 新潟

- 主催 ファザーリング・ジャパン にいがた
- 講師 安藤哲也さん (NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事)
西村直人さん (パパ's 絵本プロジェクトメンバー)
- 日程 11月4日 (土)
- 内容
楽器を使った賑やかな絵本読みから、座ってじっくりの読み聞かせ、と思ったらお面を被って踊りながらの読み聞かせ等々、色々な雰囲気の中で沢山の親子の笑顔が見られました。最後は、代表の安藤パパの子育て講座も開催しました。
- 参加者の声
・絵本は読むものだと思っていましたが、本を使ってどうやって子どもと楽しめるか、沢山のヒントをいただきました。



演劇『女たちのパイレーツオブ日本海 ～中年女たちの新時代の幕開け～』

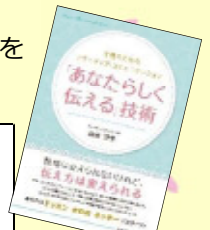
- 主催 劇団 blue ジーンズ
- 日程 11月19日 (日)
- 内容
2020年11月に東京都渋谷区でホームレスの女性が殺害され、加害者の自殺により公訴棄却となった事件を取り上げた作品。夢と希望を持って生きようとした女性がなぜ殺されなければならなかったのか。なぜ多くの女性が暴力で命を奪われてしまうのか、この社会の現実にフォーカスしました。
- 参加者の声
・社会的なテーマを取り上げていてとても良かった。
・熟年と若い人がうまく融合して良かった。
・いろんなことを考えさせられました。



令和5年度 講座などでご紹介した本①

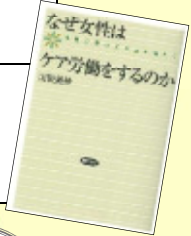
アルザにいがたでは、講座に参加された皆様に、情報図書室で所蔵している講座の内容に関連する図書をご案内しています。今号では、その中から、何冊かをご紹介します。

相談室連携講座 私を大切にするための「自己表現」 講座 (5月)	『「あなたらしく伝える」技術 女性のためのアサーティブ・コミュニケーション』 森田 汐生/著 産業能率大学出版部 ☆相手との向き合い方や伝え方をアサーティブの視点で解説
DVD 上映会 『ヒキタさん!ご懐妊ですよ』 (6月)	『ヒキタさん!ご懐妊ですよ』 ヒキタ クニオ/著 光文社文庫 ☆原作本。映画では語られなかった感動エピソードもあります
女性の起業を支援する講座 女性のための起業応援セミナー ～入門・仲間づくり編～ (7月)	『女性のための「起業の教科書」 法律・お金・経営のプロが教える』 豊増 さくら/編著 日本実業出版社 ☆事業プラン、資金計画の立て方など各分野の専門家が伝授
男性の生き方講座 (子育て期) パパスキル UP♪ 幸せがふえる家事育児 (9月)	『基本からわかる男の料理術 定番料理からこだわりの一品まで 58 レシピ』 辻調理師専門学校/料理監修 成美堂出版 ☆料理初心者の男性向けに料理の基礎知識を写真とともに解説
女性の生き方講座 もっと知りたい!私のカラダとココロ～心地よい“わたし”を見つけるために～ (9月)	『あなたのカラダとココロに寄り添う更年期とのつき合い方 東洋医学式おうち養生』 鈴木 知世/著 河出書房新社 ☆更年期とうまくつき合い乗り越え、体を整える方法を紹介
相談に携わる方のための講座 生きづらさの根底にあるものは… ～ポリヴェーガル理論に学ぶ～ (9月)	『その生きづらさ、発達性トラウマ? ポリヴェーガル理論で考える解放のヒント』 花丘 ちぐさ/著 春秋社 ☆花丘ちぐささんを講師としてお迎えしました



令和5年度 講座などでご紹介した本②

メディアリテラシーについて考える講座 知っておきたい「自分の言葉で話す」 大切さ～ジェンダー×メディアリテラシー～ (10月)	『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』新聞労連ジェンダー表現 ガイドブック編集チーム／著 小学館 ☆偏見や思い込みを見直すと新たな気づきと反省が見えてくる
アルザフォーラム 2023 DVD 上映会 『種まく旅人-華蓮のかがやき-』 『老後の資金がありません!』 (11月)	『365日#T シャツ起業家「食べチョク」で食を豊かにする農家の娘』 秋元 里奈／著 KADOKAWA ☆産直サイトを立ち上げ、豊かな食の未来を追求する姿を描く 『定年後のお金「見える化」入門』 澤木 明／著 秀和システム ☆定年後の収入や支出を改めて見直し、不安を解消できる一冊
男性の生き方講座（定年期） 老いの不安を謳歌して～見せどころ、 勘どころ、使いましょう～（1月）	『社会的処方 孤立という病を地域のつながりで治す方法』 西 智弘／編著、西上 ありさ／ほか共編 学芸出版社 ☆日本各地ではじまった「社会的処方」のしくみづくりを紹介
ジェンダーで社会を考える講座 アンコンシャスバイアスとジェンダー～ケア 役割・ケア労働からみえること～（2月）	『なぜ女性はケア労働をするのか 性別分業の再生産を超えて』 山根 純佳／著 勁草書房 ☆山根純佳さんよりオンラインでご講義いただきました
アルザ de カフェ 最も近くて遠い「家族」～程よい距離で つき合うには～（2月）	『家族を生きる 違いを乗り越えるコミュニケーション』 平木 典子／著、柏木 恵子／著 東京大学出版会 ☆近年の家族に関する問題を語り合い、再生のヒントを探る



★アルザにいがた情報図書室のご案内★

開室日時:月～金曜 10:00～17:30

休室:土日及び祝休日、第1水曜、第4月曜(第4月曜が祝休日の場合は翌日も)、
年未年始(12/29～1/3)、蔵書点検期間

*新潟市図書館の共通カードで借りることができ、お近くの新潟市立図書館に取り寄せることも
できます。新聞や雑誌もあります。どうぞご利用ください。

令和6年度 アルザにいがた 相談室のご案内

◆こころの相談◆

電話:025-245-0545

【電話】

水・日曜:10:00～15:30

金 曜:14:00～19:30

【面接】

上記電話相談で予約

火・水・木・土曜:10:00～17:00

※祝日、年未年始(12月29日～1月3日)、
第4月曜が祝休日の場合の翌火曜はお休み

◆女性のこころとからだ専門相談◆

奇数月 第2水曜:14:00～17:00

電話:025-246-7713(予約専用)

◆男性電話相談◆

第4火曜:18:30～21:00

電話:025-246-7800

◆LGBTQ+ 電話相談◆

第1月曜:17:30～20:00

電話:025-241-8510

※相談日はホームページでご確認ください。



←相談室のホームページはこちらから